

## 地域の方との交流

磐田市立東部幼稚園（静岡県磐田市）

[ 3 ~ 5 歳児 ]

### 実践紹介

祖父母との交流

地域の方との交流

子どもの姿

#### シャボン玉遊び・昔遊び（西貝防犯協会と4～5歳児）

用意してくださった道具を使い、シャボン玉や昔遊び（5歳児…紙鉄砲、4歳児…風車）を協会の方と一緒に楽しんだ。

- \* 最初はなかなかシャボン玉ができなかったが、ゆっくり輪を揺らすコツを教えてもらいできるようになった。
- \* 風車が回ると、保育者ではなく協会の方に見せていた。
- \* 折り方など分からないことは、自分から協会の方に質問する姿が見られた。



#### カレー作り（祖父母と全園児）

園の畑で収穫した野菜（タマネギ、ジャガイモ）を使い、祖父母に手伝ってもらいながらカレー作りをした。カレーが出来上がるまでの間、園庭の自然物に触れたり昔の玩具で遊んだりしながら、祖父母とのかかわりもてるようにした。

- \* 祖父母が包丁の使い方を教えてくれると、素直に取り組めた。
- \* 祖父母が手際よく調理する様子に興味をもって見ていた。
- \* メンコやおはじき、剣玉などを持ち寄り、「メンコの遊び方、教えて」と自分から近くのおじいちゃんにかかわり一緒に遊んでいた。



#### ひょうたん池園外保育（ひょうたん池自然を考えよう会と5歳児）

ひょうたん池を訪ね、保存活動をしている地域の方たちに蛭の話の聞いたり遊んでいただいたりした。この交流は10年にわたって続けている。

- \* 蛭の話に興味をもって聞いていた。
- \* きれいな水の中に入り、歓声を上げて楽しんでいた。
- \* 蛭の幼虫に興味をもって、覗き込んでいた。



#### 輪投げ・昔遊び（西貝老人クラブと4～5歳児）

4・5歳児がペアになり、老人クラブの方が用意してくださった輪投げや昔遊び（お手玉・紙風船・おはじき・こまなど）と一緒に楽しんだ。いろいろな遊びを経験できるよう、時間を決めて交代するようにした。

- \* おばあちゃんのお手玉を見て、「すごい!」「いつから上手なの?」と尊敬の眼差しで見ながら、子どもたちも真剣に取り組んでいた。
- \* 老人クラブの方に、応援してもらったり褒めてもらったりしたことで意欲をもち、いろいろな遊びを楽しんだ。
- \* 遊び方を聞いたり見せ合ったりして、進んでかかわれるようになった。



#### 焼き芋（祖父母と全園児）

3学年のペアと祖父母でグループを作り、園で収穫したサツマイモを洗ったり新聞紙で包んだりする準備と一緒にした。芋が焼ける間、園庭の自然に触れたり遊具に挑戦したりして祖父母と遊んで過ごした。

- \* 新聞包みを教えてもらいながら、「おじいちゃんは上手だなあ」と一生懸命まねていた。
- \* アルミホイルで包むときには、「やっぱり年長さんは上手だね」と褒められ嬉しそうにしていた。
- \* 熾（おき）の周りに集まって、おじいちゃん、おばあちゃんと楽しそうに話をしながら焼き芋と一緒に食べた。

**正月飾り作り（二部協西貝防犯協会と4～5歳児の親子）**

西貝防犯協会の方にしめ飾り、ミニ門松の作り方を教えてもらいながら、親子で一緒に作った。日本の伝統行事に触れる機会となった。

- \* うまく作るコツを教えてもらいながら、親子で楽しそうに会話をしたり、相談したりしながら取り組んでいた。
- \* 出来上がると「もうお正月みたいだね」「家に入る所に飾るんだよね」と、楽しみにしていた。
- \* 思い思いの門松ができ、互いに見せ合っていた。

**餅つき（祖父母と全園児）**

杵と臼という昔からの道具を使って餅つきをした。5歳児は、祖父母に手伝ってもらいながら、杵を持って餅つき体験をした。

4・5歳児はペアになって5歳児は自分で餅を丸め、4歳児は祖父母に丸めてもらった。出来上がった餅は黄な粉や餡子餅にして食べた。

- \* 朝から、テラスに置いた臼と杵を見て「まだおもちつかないの？」と楽しみにしていた。
- \* みんなは、5歳児が餅をつく様子を「よーいしょ！よーいしょ！」と声をかけながら憧れの眼差しで見ている。5歳児は杵の重さを感じながら「重かったけど楽しかったよ」と満足感を味わったようだ。
- \* 5歳児は4歳児に餅の丸め方を教えながら丸めていた。

**どんど焼き（御厨老人クラブ、祖父母と全園児）**

前日に、餅を竹の先に付けてどんど焼きの準備をした。昨年の経験をしている5歳児が4歳児にやって見せ、期待がもてるようにした。

当日は、御厨老人クラブの方たちが朝から焚き火の準備をしてくださり、子どもたちが家から持ってきた正月飾りを燃やした。どんど焼きの意味を知らせると共に熾（おき）でもちを焼いて食べ、みんなで今年1年の無病息災を願った。これは、17回目となる伝統行事となっている。

- \* 5歳児は竹串洗いや準備にとりかかり、ペアの年少児や祖父母、老人クラブの方の分まで餅付けを張り切って行っていた。
- \* 年少児たちは、5歳児の餅付けの様子に興味をもって見ていた。
- \* 祖父母と一緒に餅を焼く順番を待った。「熾（おき）の近くは熱い」「煙が来ると目が痛い」など実体験を通して感じたことを呟いていた。
- \* どんど焼きの由来を知り、健康を願う姿が見られた。



地域の自然、地域の人々、日本古来の伝統行事など、多くの人々との出会いと遊びを通して、その時々「おや？」「すごい！」「いいなあ！」という様々な思いがもてるように、その場に居合わせた保育者は心を動かす援助が大切である。

**みどころ**

地域の方々や友達の祖父母などとの交流場面では、日ごろ園でかかわっている人々とは違った緊張感や遠慮や尊敬などの思いを抱き、ちょっぴり「よそ行き」の子どもたちの姿が浮かんできます。そのちょっと「よそ行き」が「親しみ」へと変わっていくことで、人間関係の広がりや深まりに結びついていきます。そうして実感した「親しみ」の気持ちが、「科学する心」につながる「人や自然を大切に作る心」や「感謝の心」の育みとなることが期待できます。